



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月26日

上場会社名 株式会社 医学生物学研究所

上場取引所 東

コード番号 4557 URL <http://www.mbl.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 公政

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括本部長 (氏名) 中井 邦彦 TEL 052-238-1901

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,837	8.1	△201	ー	△200	ー	△229	ー
27年3月期第3四半期	5,398	6.7	△583	ー	△488	ー	△512	ー

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △280百万円 (ー%) 27年3月期第3四半期 △535百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△8.87	ー
27年3月期第3四半期	△19.81	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	12,628	7,663	60.5	295.75
27年3月期	12,332	7,943	64.2	306.44

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 7,646百万円 27年3月期 7,922百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
28年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
28年3月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,086	19.4	116	ー	113	ー	87	ー	3.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	26,059,000株	27年3月期	26,059,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	204,248株	27年3月期	204,248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	25,854,752株	27年3月期3Q	25,854,752株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)のわが国経済は、引き続き国内企業の業績や雇用情勢に改善はみられるものの、円安による輸入品価格の高値継続や、世界経済の減速懸念、地政学的リスクの高まりなどの要因から、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の売上高は58億37百万円(前年同四半期比8.1%増)、営業損失2億1百万円(前年同四半期は営業損失5億83百万円)、経常損失2億円(前年同四半期は経常損失4億88百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2億29百万円(前年同四半期は四半期純損失5億12百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## (ア) 試薬事業

臨床検査薬分野では、主力の自己免疫疾患検査試薬においては、競合など厳しい市場環境が継続する中、国内において「ステイシア MEBLux™ テスト」シリーズの売上が伸びましたが、海外での試薬販売が伸び悩んだことから売上高は減少しました。その一方で、がん関連検査試薬において、平成27年4月から保険適用となりました大腸がん治療抗体医薬品の効果を予測するRAS遺伝子検査試薬「MEBGEN™ RASKET キット」が売上に貢献したことなどから、分野全体の売上高は前年同四半期を上回りました。

基礎研究用試薬分野では、抗体試薬の国内販売が好調であったこと、免疫細胞治療において細胞傷害性T細胞を検出する試薬「MHCテトラマー」の販売が国内外で好調であったことなどから、分野全体の売上高は前年同四半期を大幅に上回りました。

細胞診関連分野においては、子宮頸がんの原因ウイルスとされるヒトパピローマウイルスの高リスク遺伝子型タイピング試薬「MEBGEN™ HPVキット」や細胞診検査に関連する試薬が売上伸長に貢献しました。

これらに加え、抗体医薬シーズの導出により売上高が増加しました。

以上の要因により、試薬事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は57億92百万円(前年同四半期比8.1%増)となりましたが、売上原価率の改善は進んでいるものの依然として高い水準にあること、前年同四半期程度の研究開発投資を継続していることなどから、セグメント損失は2億13百万円(前年同四半期はセグメント損失5億92百万円)となりました。

## (イ) 投資事業

投資事業においては、JSR・mb1VCライフサイエンス投資事業有限責任組合の管理収入により、当第3四半期連結累計期間の売上高は45百万円(前年同四半期比10.4%増)、セグメント利益は12百万円(同41.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (ア) 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は126億28百万円となり、前連結会計年度末に比較して2億96百万円増加しました。

・流動資産：当第3四半期連結会計期間末で79億15百万円となり、前連結会計年度末より11億64百万円減少しました。

これは主に、第2生産棟移転に向けた在庫積み増しにより商品及び製品が2億10百万円増加した一方で、現金及び預金が9億91百万円、受取手形及び売掛金が3億98百万円減少したためです。

・固定資産：当第3四半期連結会計期間末で47億12百万円となり、前連結会計年度末より14億60百万円増加しました。

1) 有形固定資産は31億39百万円となり、前連結会計年度末より14億95百万円増加しました。

これは主に、第2生産棟の建築により建物及び構築物が14億32百万円増加したためです。

2) 無形固定資産は5億52百万円となり、前連結会計年度末より94百万円増加しました。

これは主に、のれんが1億26百万円増加したためです。

3) 投資その他の資産は10億20百万円となり、前連結会計年度末より1億30百万円減少しました。

これは主に、長期貸付金が95百万円、長期前払費用が47百万円減少したためです。

(イ) 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は49億65百万円となり、前連結会計年度末に比較して5億76百万円増加しました。

・流動負債：当第3四半期連結会計期間末で28億6百万円となり、前連結会計年度末より4億23百万円増加しました。

これは主に、短期借入金が3億39百万円、その他が76百万円増加したためです。

・固定負債：当第3四半期連結会計期間末で21億58百万円となり、前連結会計年度末より1億53百万円増加しました。

これは主に、長期借入金が1億86百万円増加したためです。

(ウ) 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は76億63百万円となり、前連結会計年度末に比較して2億80百万円減少しました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、利益剰余金が2億29百万円減少したためです。

自己資本比率は60.5%（前連結会計年度末は64.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年4月27日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,697,863	3,706,749
受取手形及び売掛金	2,296,364	1,897,838
有価証券	10,582	11,614
商品及び製品	761,483	972,226
仕掛品	547,408	545,477
原材料及び貯蔵品	529,972	552,897
その他	247,660	243,652
貸倒引当金	△11,179	△14,618
流動資産合計	9,080,157	7,915,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	582,481	2,014,752
機械装置及び運搬具(純額)	197,631	198,082
土地	196,586	196,519
リース資産(純額)	251,176	219,757
建設仮勘定	97,705	167,588
その他(純額)	317,457	342,337
有形固定資産合計	1,643,038	3,139,038
無形固定資産		
のれん	231,290	357,902
その他	226,982	195,096
無形固定資産合計	458,272	552,998
投資その他の資産		
投資有価証券	304,868	260,112
長期貸付金	401,056	305,993
長期前払費用	304,546	257,435
その他	475,267	491,993
貸倒引当金	△334,783	△294,787
投資その他の資産合計	1,150,955	1,020,747
固定資産合計	3,252,266	4,712,784
資産合計	12,332,424	12,628,623

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	411,111	419,290
短期借入金	1,337,968	1,677,524
リース債務	41,611	33,009
未払法人税等	41,799	49,573
繰延税金負債	745	735
その他	549,772	626,615
流動負債合計	2,383,008	2,806,747
固定負債		
長期借入金	1,795,217	1,982,056
リース債務	67,434	42,300
退職給付に係る負債	22,200	24,243
その他	120,796	110,124
固定負債合計	2,005,648	2,158,724
負債合計	4,388,656	4,965,472
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,482,936	4,482,936
資本剰余金	4,198,820	4,198,820
利益剰余金	△795,364	△1,024,711
自己株式	△43,493	△43,493
株主資本合計	7,842,897	7,613,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,484	60,161
為替換算調整勘定	△15,385	△27,237
その他の包括利益累計額合計	80,099	32,924
新株予約権	14,288	14,288
非支配株主持分	6,482	2,387
純資産合計	7,943,767	7,663,150
負債純資産合計	12,332,424	12,628,623

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	5,398,377	5,837,237
売上原価	2,393,026	2,430,864
売上総利益	3,005,351	3,406,372
販売費及び一般管理費	3,588,752	3,608,080
営業損失(△)	△583,401	△201,707
営業外収益		
受取利息	11,133	8,615
為替差益	143,377	5,435
保険配当金	4,848	5,039
持分法による投資利益	—	4,425
その他	14,947	11,591
営業外収益合計	174,307	35,107
営業外費用		
支払利息	24,594	28,743
持分法による投資損失	52,504	—
その他	2,182	4,711
営業外費用合計	79,282	33,454
経常損失(△)	△488,375	△200,053
特別利益		
投資有価証券売却益	—	16
国庫補助金	7,466	26,816
ゴルフ会員権売却益	—	122
特別利益合計	7,466	26,954
特別損失		
固定資産除却損	454	452
投資有価証券評価損	—	10,000
固定資産圧縮損	—	10,000
ゴルフ会員権評価損	—	3,700
特別損失合計	454	24,152
税金等調整前四半期純損失(△)	△481,364	△197,251
法人税、住民税及び事業税	32,783	36,137
法人税等合計	32,783	36,137
四半期純損失(△)	△514,147	△233,389
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,978	△4,042
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△512,169	△229,346



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△514,147	△233,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,454	△35,322
為替換算調整勘定	△80,499	△11,903
その他の包括利益合計	△21,045	△47,226
四半期包括利益	△535,192	△280,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△531,872	△276,521
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,320	△4,094

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 ※
	試薬事業	投資事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,356,982	41,394	5,398,377	—	5,398,377
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	450	—	450	△450	—
計	5,357,432	41,394	5,398,827	△450	5,398,377
セグメント利益又は損失(△)	△592,036	8,634	△583,401	—	△583,401

※ セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 ※
	試薬事業	投資事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,791,557	45,680	5,837,237	—	5,837,237
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	450	—	450	△450	—
計	5,792,007	45,680	5,837,687	△450	5,837,237
セグメント利益又は損失(△)	△213,925	12,217	△201,707	—	△201,707

※ セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年11月17日開催の取締役会において、当社の100%子会社である株式会社サイクレックスを吸収合併(以下「本合併」)することを決議し、株式会社サイクレックスとの間で本合併に係る合併契約書を締結いたしました。

なお、本合併は当社100%出資の連結子会社を対象とする簡易合併・略式合併となります。

1. 合併の目的

株式会社サイクレックスは平成10年の設立以降、独自の研究開発・製品展開により事業活動を行い、当社グループの基礎研究用試薬の研究・開発・販売事業の一翼を担ってまいりました。

当社グループの経営の効率化と経営管理体制の強化を図るとともに、経営資源を有効に活用して当社の事業基盤をより強固なものとするために、当社が吸収合併することといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

取締役会決議日 平成27年11月17日

合併契約締結日 平成27年11月17日

合併の予定日(効力発生日) 平成28年1月1日

(注)本合併は、当社においては会社法第796条第2項に定める簡易合併であり、当該子会社においては、会社法第784条第1項に定める略式合併であるため、それぞれ合併契約に係る株主総会の承認を得ることなく実施いたします。

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社サイクレックスは解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

株式会社サイクレックスは、当社100%出資の子会社であるため、本合併に際して新株の発行、資本金の増加、及び合併交付金の支払いはありません。

(4) 対象となった事業の名称及びその事業の内容、規模

事業の内容 基礎研究用試薬の研究開発

事業の規模(平成26年12月期)

資産の額 167,572千円

負債の額 18,072千円

純資産の額 149,500千円

(5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 実施する会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成26年11月18日)に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。